

### (3) 祝 辞

通商産業大臣 渡部 恒三

ご紹介を賜りました渡部恒三であります。

第五世代コンピュータ国際会議にご参加をいただきました内外のすばらしい皆様方を心から歓迎いたします。本国際会議実行委員長・田中英彦東京大学教授をはじめとする関係者の皆様方、および主催者である財団法人新世代コンピュータ技術開発機構の方々に、心から敬意を表します。

1982年より10年余りの間に、約540億円を投じて進めてきたこのプロジェクトも、本年度をもって終了することになります。私が特にこのプロジェクトに熱い思いを抱いておりますのは、今から13年前、私が自由民主党・商工部会長の時に本プロジェクトの調査が開始され、さらに衆議院の商工委員長であった時に、このプロジェクト開始の予算が成立をいたしました思い出の深いものであるからかと思えます。

昨年、私は三田の研究所を訪問して、淵先生から研究成果をいろいろお聞かせいただきました。残念ながら私は文学部出身ですから、せっかく淵先生から立派な説明を聞いても、何か素晴らしいなという感じを持っただけで中身のことは詳しく理解できませんでした。コンピュータと碁を打たせていただきました。私が定石と外れたところに石を打ちますと、コンピュータの困った顔がありありとうかがえて、これは素晴らしいものだなどと、素人なりに驚きましたが、残念ながら時間がなくて途中で帰ってしまわなければなりません。いま一度

お手合わせをしたいものだなどと、これはぜひ実現したい、と思っておるところであります。

我が国は、世界が平和であって、世界のすべての国々と仲良く、自由に経済関係、国際関係、文化の関係を持つことによって、今日の豊かな繁栄を遂げてまいりました。したがって、我が国の最大の政策課題は、あらゆる分野でいかにして国際社会の発展のためにお役に立たせていただくかということにあります。そういう意味で、このプロジェクトは基礎研究を通じた国際貢献を目的としておるところに大きな意義がございます。淵博士をはじめとする研究者の方々の献身的な努力によって、本プロジェクトは知識情報処理分野で国際的なリード役を果たすことができました。また、海外研究者の招聘、海外との共同研究など、国際研究交流拠点としての役割も果たさせていただくことができました。

本プロジェクトの過程で作成された研究開発段階のソフトウェアを、国際公共財として広く公開する方針であります。これが世界の科学技術の進展への一助になれば、まことに幸いです。人類は常にたゆまざる努力によって、無限の可能性を求めて前進していかなければなりません。本国際会議が世界の科学技術の進歩に、ひいては無限の可能性を求める人類の未来に大きな貢献をなされることを期待して、ごあいさつにさせていただきます。

ありがとうございました。